

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:令和 3年 1月 15日

事業所名 はびりすぽと

保護者等数(児童数)23名 回収数 19名 割合 83%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	1		3	一度見学に行きたいと思っているがなかなか行けていない	標準的の広さ約16㎡に対し当時事業所では支援室30㎡と遊戯室50㎡を確保しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	17			2		法令に定められた人員数で保育士や教諭、作業療法士を配置して支援を行っています。今後も研鑽を積んで支援に当たります。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	1		3		バリアフリーに配慮した環境になっています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	18			1		保護者のニーズを確認しながら標準化された評価を行い、客観的なデータを基に支援計画を作成していきます。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	17			2		定期的なカンファレンスを行い個別支援方法を検討しています。必要な支援道具も随時新しく取り入れていきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	6		8		学童を併用している利用児童が多く、日常より交流できています。学童等主催のイベントに参加希望があれば参加していきます。

保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18		1		契約時に丁寧な説明を行っています。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	1			連絡ノートや電話連絡等を活用して些細な事も情報共有していきます。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19				定期的な面談を行っています。気軽に保護者が相談を伝えられるようなシステム(ラインオフィシャルの利用)を検討しており、4月運用を目指します。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	5		3	気軽に保護者が相談を伝えられるようなシステム(ラインオフィシャルの利用)の運用により様々なご意見を頂き、必要に応じて集会を開催します。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18			1	普段より意見を言いやすい関係づくりをし、苦情に対して迅速、適切に対応します。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19				連絡ノートや電話連絡等を活用して些細な事も情報共有していきます。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15	2		2	1週間毎のホームページ更新を行っています。自己評価結果も毎回、発信していきます。
	14	個人情報に十分注意しているか	18			1	職員教育を受けて個人情報取り扱いに注意しています。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	15	1		3	定期的にマニュアル確認を行っています。内容もホームページに掲載していきます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	2		6	定期的に避難訓練を行っています。内容もホームページに掲載していきます。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	18	1			子どもが楽しんでトレーニングできる環境づくりに努めます。
	18	事業所の支援に満足しているか	19				結果の伴う支援を行えるよう、職員一同研鑽を積んでいきます。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。